

咸宜園を世界遺産に!

かんぎえん ほうかく ゆさん
「咸宜園放学遊山」
ひろせたんそう
廣瀬淡窓先生ゆかりの地めぐり
～日田市南部地区マップ～
淡窓先生と咸宜園で学ぶ塾生達が
歩いた足跡



西岸寺
さいがんじ

帽子被山
ぼうしかぶりやま

加ヶ鶴新道碑
かかづるしんどうひ

白岩神社
しらいわじんじゃ

松尾神社
きのうさま

石井神社
いしいじんじゃ

小畑神社
おばたじんじゃ

鏡坂
かがみざか

鏡坂大明神
かがみざかだいみょうじん

護願寺
ごがんじ

越原観音
こしはらかんのん

越原の石碑
こしはらのせきひ

誠和稲荷
せいわいなり

四手平坂
すてんひらざか

琵琶の頸
びわのくび

釜淵
かまぶち

普門寺
ふもんじ

稲荷社
いなりしゃ

琴平神社
ことひらじんじゃ

銭花溪
ぜにはなけい

□: 日田市内の淡窓会建立詩碑 ※番号は『廣瀬淡窓と咸宜園～近世日本の教育遺産として～資料編』の資料番号を記しています

場所の詳細
は↓から
[QR Code]
google
マップ



38 垂水渡し (たるみわたし)

竹田村から高瀬に至るには三隈川を渡る必要があり、当時若宮神社付近から、対岸の垂水へは板橋が架けられていました。大水のときは板を外していました。垂水は滝を意味する古語であり、現在も高瀬の一部を示す地名として残っています。



39 四手平坂 (すてんひらざか) 40 誠和稲荷 (せいわいなり)

捨平の地名が残る四手平坂は、石畳が敷かれ誠和稲荷へ続く急坂になっています。淡窓と門下生が、この坂を登ったと「懐旧楼筆記」に書かれています。誠和稲荷の敷地内にある石碑には、この神社の創建・ご守護神の鎮座が文政元年(1818年)と刻まれています。



43 釜淵 (かまぶち)

淡窓が「清流は石畳を洗い、魚は見え隠れする」と漢詩に詠んだ釜淵は、琴平町公民館の裏手の高瀬川の中にあります。2代歌川広重が、諸国百景の一つとして浮世絵に描いた名勝です。釜淵という名称は、中州の岩盤の一カ所がかまどのような形だったからと伝えられます。釜淵の広い岩場には今でも7つの柱穴が残っています。この穴を柱穴として、あずまやを組み立てたようです。文人森春樹は、春に小鮎が川を上るさまを見るため釜淵に行きました。また、代官所ご用達の掛屋山田家は、毎朝使用人が土瓶を持って、釜淵の湧き水を汲みに行ったと伝えられています。



44 琴平神社 (ことひらじんじゃ) (金毘羅宮) (こんびらぐう)

淡窓師弟は、釜淵から鬼ヶ城、更に登って金毘羅宮、そして普門寺へと足を延ばしました。金比羅宮は釜淵の南の丘陵上にあり、今日も琴平神社として厚く尊崇されています。



45 普門寺 (ふもんじ)

いまは荒廃した庭園に小堂が残っています。かつては本尊とともに開山の笑巖和尚の頂相(市有文)が安置され、背面の墨書によれば応永16年(1409年)、和尚の三十三回忌法要に際して造立したと記されています。笑巖和尚の頂相は、岳林寺にある郷土資料館に展示されています。



47 越原観音 (こしはらかんのん) 48 越原の石碑 (こしはらのせきひ)

19世紀初め日田代官の命により、宝泉寺の菅原郷より菅原弥助一家が新田開発のために、高瀬村越原に移されました。淡窓は、越原観音より見た三隈川を「亀山は苑として水の中央に在り 伝う是れ毛候の古戦場」と漢詩に詠んでいます。



49 鏡坂公園 (かがみざかこうえん) 50 鏡坂大明神 (かがみざかだいみょうじん)

「豊後国風土記」によると、景行天皇が征西の時この坂に登って国見をされ「かたち鏡に似たるかな」と仰せられた。このことにちなみ鏡坂という地名になったといわれます。森春樹は、この由来が忘れられるのを恐れ、「すめらぎの いむき立たしし この坂に かくる鏡の 名こそ朽ちせぬ」と詠みました。



51 石井神社 (いしいじんじゃ)

石井神社の御祭神は鳥羽(止波)宿禰(とばのすくね)です。鳥羽宿禰は『旧事本記』13代成務天皇の御世に、葛城国造と同祖、鳥羽宿禰を定めたとあります。豊西記には、鳥羽宿禰が没したので百姓はその徳を懐かしんで祠を880年に会所山に建てたと言われ、それを大蔵永弘が石井に移しました。これが石井神社の創立となっています。当初の神宝である銅鉾は、嘉禄元年(1225年)に津江山の住人が掘出したと古書に記したものと思われ、長さ77.5cm、幅7cmの中広銅鉾です。鉾の由来には、石井源太夫が八幡宮に祈願し、剣を大空に向かって投げた所、西南の方向の山野に落ちた。その所を、剣納山として石井大明神の社地として定めたとあります。その後、その場所に石井大明神を建てたということです。



52 松尾神社 (きのうさま)

明和6年(1769年)に建立された開運の神社。男女の性器を祀っており、結婚の縁遠き方・子供の無い方・性器の諸病に霊験有と伝えられています。4月第2日曜日に「きのうさま祭」が行われています。



53 小畑神社 (おばたじんじゃ)

天照大御神を御祭神としています。祭礼は夏と秋に行われ、小山町の隣保班が順番で行っています。創建は不明で、社殿は昭和18年4月に修理しています。



54 白岩神社 (しらいわじんじゃ)

天照大御神を御祭神としています。この神社は「昔、この地を領する草壁長者の砦に奉祀の神あり、長者深く崇拝する」と伝えられており、草壁長者伝説と関係しています。元々、白岩大明神の社殿に、大日靈女貴尊を合祀し産土神として崇められたという伝承があります。



55 護願寺 (ごがんじ)

護願寺は日田市では数少ない黄檗宗の寺で、盆地を望む丘陵上にあります。奈良時代に造られたと伝える薬師如来像など貴重な文化財があります。淡窓は幼少より幾度となく護願寺を訪れ、そこから望む眺望を愛しました。



56 帽子被山 (ぼうしかぶりやま)

石井神社の西にある山で、淡窓日記には「山高キニ非ザレドモ遠望スベシ」と記されています。



西岸寺 (さいがんじ)

石井の町並みの中にある浄土真宗大谷派の寺院です。淡窓は石井を訪れると度々西岸寺に立寄っています。西岸寺の住職卓庵老師は境内に置く手水鉢に淡窓の書を所望し、淡窓は「漱石」の書を贈っています。この手水鉢に書かれた書は淡窓最大級の書です。



加ヶ鶴新道碑 (かかづるしんどうひ)

国道210号線加ヶ鶴トンネルの東の道路そばに「加ヶ鶴新道碑」があります。代官羽倉権九郎は石井村の樋口安左工門に出資させてこの道を完成させました。羽倉代官は淡窓に撰文を依頼し「加ヶ鶴新道碑」がつけられました。



参考文献：廣瀬淡窓と咸宜園～近世日本の教育遺産として～資料編
日田市史

地図制作：咸宜園放学遊山の会
かんぎえんほうがくゆさん

咸宜園放学遊山の会
ホームページ

